

短歌

枕詞

特定の語のまえにつけて調子をととのえる。基本5音

例) **た**らちねの →母 **ひ**さかたの →天、雨、月、雲、空、光など **あ**しひきの →山
枕詞 枕詞 枕詞

序詞

特定の語の意味を引き出す。長さはきまっていない ※枕詞の長いバージョンです。

例) **あしひきの山鳥の尾のしだり尾の** →長々し夜を 独りかも寝む
序詞

枕詞もはいている

掛詞

1つの音で二つの意味を表す ※たんなるダジャレです。

例) まつ →松、待つ きく →菊、聞く ながめ →長雨、眺め

どの用法が使われているでしょう

たらちねの 母が手離れ かくばかり すべなきことは いまだせなくに

あしひきの 山のしづくに 妹(いも)待つと わが立ち濡れし 山のしづくに

あしひきの 山鳥の尾の しだり尾の 長々し夜を 独りかも寝む

立ちわかれ いなばの山の 峰におふる まつとしきかば 今帰り来(こ)む